

令和4年度 学校評価シート

教育理念口	『挑戦と創造の教育』の実践	目指す学校像	「次のステージで活躍できる人材の育成」 「辞めない辞めさせない教育活動の実践」 すべての生徒が自立する力を身に付ける学校	育てたい生徒像	自分を大切にし、 他者へも謙虚な気持ちで、 未来を切り拓く生徒
重点目標	1 限りなく学力を向上させる教育 2 非認知能力を育成する教育 3 社会的に評価される教育	教職員4か条	①生徒に愛情を注ぎ大切にしよう ②保護者と連携しよう ③生徒を伸ばさせる授業をしよう ④報告連絡相談を意識しよう	芦屋 4 か条	礼儀（挨拶、授業態度） 傾聴（しっかり人の意見を聞く） 敬意（思いやり、清掃の徹底） 危険（私、あなた、みんなを大切に）

- ※ 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目（年度達成目標）を設定する
- ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる
- ※ 評価項目に対応した具体的方策と方策の評価指標を設定する
- ※ 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を受ける
- ※ 評価委員会は、大学教員、自治会長、民生委員・児童委員、教育顧問で構成

専修学校クラーク高等学院芦屋校			
達成度	A	十分に達成した	（80%以上）
	B	概ね達成した	（60%以上）
	C	あまり十分でない	（40%以上）
	D	不十分である	（40%未満）

自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価		
番号	重点目標の現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善方策
1	限りなく学力を向上させる教育 〈現状〉 本校教育を体現する教育課程の編成・意識共有と実践が進められている。目指す学校像・育てたい生徒像が明確に示されている。 〈課題〉 職員同士の情報共有や連携する仕組みが求められる。ICTを活用した取組を進めていく必要がある。教育の質の向上を目指した組織的かつ計画的な教科間連携も課題である。	・教育課程編成 ・教育目標設定 <					